

<真剣味>⑯

2014.11.12

ひたむきなプレー

我が家的小学校2年生は学童で軟式野球をやっています。1週間で5日の練習を何とか頑張っている。プレーが思い通りにいかなくても物や人に当たったりせず、悔し涙を流してボールに向かっている。野球をやっていれば、思い通りにいかないことがたくさんある。打ちたいのにデッドボール、ストライクだと思ったのにボール、セーフだと思ったのにアウトになった等々。だからと言って相手の選手をにらんだり、ボールをマウンドに投げたり、またヘルメットを投げて悔しがったり。こんな態度は見ていてとても見苦しいし本人のレベルやチームとしての指導が問われることになります。それに野球は流れがあるので、このような態度を取っているとチームの空気や取組が悪くなる。そしてこんな選手に対してまわりの選手が気を使い、言いたいことも言えなくなることがある。でも本人は理解していない。でもこれではチームの目標達成のため一致団結できなくなる。

我がチームは、目標達成のため淡々とプレーし、野球の流れを相手に渡さないようにしないといけない。そのため普段から心の切り替えを早くし、言い訳をせずプレーに集中する、自分のことは自分でやり他人や後輩に任せない、などチームのことを考えプレーしてもらいたい。

日々前進

この時期の試合は来年度のことを考え、様々な投手起用や、バントなど使わずバッティングだけで繋げる試合を行うなどチーム独自に考え試合に取り組んでいる。我がチームも3人目の投手を作ることを一番の課題に、そして打者は早い打球を転がすことを課題に試合に臨んでいる。

8日（土）、9日（日）の2日間で、2年生の2人の投手がそれぞれ1試合完投、もう1試合は2人で受け持った。最後の1試合は1年生の投手が完投できた。これは大きな収穫です。打者の方は8日（土）の2試合目、3点のうち2点が転がした打球に対して相手がミスを犯してもらった得点です。とにかく転がして一生懸命走り切る。このパターンをチームの色にしたい。

この試合を観てくださった理事の方から出た一言が「日々前進」でした。あり難いです。

保護者（2日・3日、8日・9日）

男性陣は審判に試合運営に、女性陣はお昼のご飯に汁物にデザートまで頑張っていただき感謝いたします。何年かぶりにいただいたカキ汁は最高でした。選手もおかわりしたいという声がでていました。本当に有難うございました。

+α

投手をリードする捕手がコーチと相談して配球を考え、試合に臨んだ。意図的にリードすることで捕手本人の動きも良く、試合の流れも良くなった。さらに学習をつんでもらいたい。